

定期予防接種の接種方法（令和2年度分）

種類	対象年齢 * 好ましい接種年齢		接種回数及び接種間隔 * 好ましい接種間隔		
B C G	3か月～12か月未満 * 5か月～8か月未満		1回	—	
M R または 麻しん・風しん 単独	1期	12か月～24か月未満	1回	—	
	2期	就学前の1年間(年長児) H26.4.2～H27.4.1生まれ	1回	—	
水痘 (水ぼうそう)	12か月～36か月未満 * 12か月～15か月未満		2回	3か月以上の間隔を空けて2回 * 6か月から12か月までの間隔を空けて2回	
四種混合 三種混合 ポリオ単独	1期	初回	3か月～90か月未満 * 3か月～12か月未満	3回	20日以上の間隔を空けて3回 * 20日から56日までの間隔を空けて3回
		追加	3か月～90か月未満	1回	1期初回3回目終了後、6か月以上の間隔を空けて1回 * 1期初回3回目終了後、12か月から18か月までの間隔を空けて1回
二種混合	2期	11歳～13歳未満	1回	—	
日本脳炎	1期	初回	6か月～90か月未満 * 3歳～4歳未満	2回	6日以上の間隔を空けて2回 * 6日から28日までの間隔を空けて2回
		追加	6か月～90か月未満 * 4歳～5歳未満	1回	1期初回2回目終了後、6か月以上の間隔を空けて1回 * 1期初回2回目終了後、標準的におおむね1年(11か月から13か月)の間隔を空けて1回
	2期	9歳～13歳未満 * 9歳～10歳未満	1回	—	
	特例措置	平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの方は、接種年齢が20歳未満までに拡大されました。接種回数については、上記の回数を接種してください。また、平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの方で接種回数を終了していない方は、2期の期間内に接種できます。(接種間隔は、6日以上です。)			

種類	対象年齢 * 好ましい接種年齢		接種回数及び接種間隔 * 好ましい接種間隔	
	Hib (インフルエンザ菌b型)	初回接種の月(年)	* 2か月～7か月未満	4回
				追加接種1回 初回接種終了後7か月以上の間隔を空けて1回。ただし、初回接種3回を終了せずに生後12か月以上になった場合は、初回接種に係る最後の接種終了後27日(医師が必要と認めた場合20日)以上の間隔を空けて1回 * 初回接種終了後、7か月以上13か月までの間隔を空けて1回
7か月～12か月未満		3回	初回接種2回 生後12か月未満までに27日(医師が必要と認めた場合20日)以上の間隔を空けて2回。(初回2回目の接種は、生後12か月以上の場合は受けられない。(追加接種は可)) * 27日(医師が必要と認めた場合20日)以上56日までの間隔を空けて2回	
			追加接種1回 初回接種終了後7か月以上の間隔を空けて1回。ただし、初回接種2回を終了せずに生後12か月以上になった場合は、初回1回目の接種終了後27日(医師が必要と認めた場合20日)以上の間隔を空けて1回 * 初回接種終了後、7か月以上13か月までの間隔を空けて1回	
1歳～5歳未満		1回	—	
小児用肺炎球菌	初回接種の月(年)	* 2か月～7か月未満	4回	初回接種3回 生後24か月未満までに27日以上の間隔を空けて3回。(初回2回目及び初回3回目の接種は、生後24か月以上は受けられない。また、生後12か月以上で初回2回目を受けた場合は、初回3回目の接種は受けられない。(追加接種は可)) * 生後12か月未満までに27日以上の間隔を空けて3回
				追加接種1回 初回接種終了後、60日以上の間隔を空けて、生後12か月以上になって1回 * 初回接種終了後、60日以上の間隔を空けて生後12か月から生後15か月までに1回
	7か月～12か月未満	3回	初回接種2回 生後24か月未満までに27日以上の間隔を空けて2回。(初回2回目の接種は、生後24か月以上は受けられない。(追加接種は可)) * 生後12か月未満までに27日以上の間隔を空けて2回	
			追加接種1回 初回接種終了後、60日以上の間隔を空けて生後12か月以上になって1回 * 初回接種終了後、60日以上の間隔を空けて生後12か月以上になって1回	
	1歳～2歳未満	2回	60日以上の間隔を空けて2回	
	2歳～5歳未満	1回	—	

種類	対象年齢 * 好ましい接種年齢	接種回数及び接種間隔 * 好ましい接種間隔	
B型肝炎	0か月～12か月未満	3回	生後12か月未満までに27日以上の間隔を空けて2回接種した後、1回目の接種から139日以上の間隔を空けて1回
ロタ	6週～24週まで * 1回目の接種を、生後2か月から出生14週6日まで	2回	1価ワクチン(ロタリックス) 27日以上の間隔を空けて2回
	6週～32週まで * 1回目の接種を、生後2か月から出生14週6日まで	3回	5価ワクチン(ロタテック) 27日以上の間隔を空けて3回
子宮頸がん 予防	小学6年生～高校1年生の女子 (H16.4.2～H21.4.1 生まれの女子) * 中学1年生	3回	2価(サーバリックス) 1か月以上の間隔を空けて2回行った後、1回目の接種から5か月以上、かつ2回目の接種から2か月半以上の間隔を空けて1回 * 1か月以上の間隔を空けて2回行った後、1回目の接種から6か月の間隔を空けて1回
		3回	4価(ガーダシル) 1か月以上の間隔を空けて2回行った後、3か月以上の間隔を空けて1回 * 2か月の間隔を空けて2回行った後、1回目の接種から6か月の間隔を空けて1回
<p>* 厚生労働省の審議会において、ワクチンとの因果関係を特定できない持続的な激しい疼痛がワクチン接種後に特異的に見られたとの報告が集積されましたが、医学的な説明が十分にできないことから、調査を行い適切な情報提供ができるまでの間、接種を積極的に推奨すべきではないと提言し、現在も検討が続けられています。ただし、定期接種を中止するものではないことから、対象者のうち希望者は定期接種として受けることはできます。</p>			

	対象年齢 * 好ましい接種年齢	接種回数及び接種間隔 * 好ましい接種間隔
高齢者用肺炎球菌 (定期予防接種)	右記の1又2に該当する方の 1回目 の接種が対象 2回目以降の接種は対象となりません。	<p>1 令和2年4月1日から令和3年3月31日までの特例による対象者は、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳又は100歳になる方</p> <p>(1) 65歳: 昭和30年4月2日から昭和31年4月1日生まれの方</p> <p>(2) 70歳: 昭和25年4月2日から昭和26年4月1日生まれの方</p> <p>(3) 75歳: 昭和20年4月2日から昭和21年4月1日生まれの方</p> <p>(4) 80歳: 昭和15年4月2日から昭和16年4月1日生まれの方</p> <p>(5) 85歳: 昭和10年4月2日から昭和11年4月1日生まれの方</p> <p>(6) 90歳: 昭和 5年4月2日から昭和 6年4月1日生まれの方</p> <p>(7) 95歳: 大正14年4月2日から大正15年4月1日生まれの方</p> <p>(8) 100歳: 大正9年4月2日から大正10年4月1日生まれの方</p> <p>2 満60歳から65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器疾患、血液及び免疫疾患などの障害(身体障害者手帳1級程度)の方で予防接種を受けることを希望する方。(身体障害者手帳又は医師の証明書が必要)</p>